

海事科学部 3学科概要

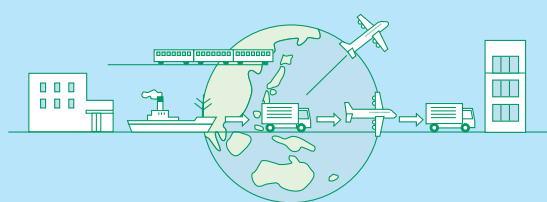
2008年、日本政府が策定した海洋基本計画では、「海洋に関わる事象は相互に密接に関連していることから、海洋立国を支える人材には、多岐にわたる分野につき総合的な視点を有して事象を捉えることのできる幅広い知識や能力を有する者を育成していくことが重要」と謳われています。大学にも、学際的な教育・研究を推進するため、カリキュラムの充実が求められているのです。

こうした中、神戸大学海事科学部は、急速に進む海事社会の変化や大学教育のグローバル化、社会の要請に対応すべく、総合大学としてのメリットを生かしながら、これまで以上に学際的・総合的な教育研究を行える体制を構築しています。2013年度には学科を改組すると同時に教育体系を改善し、現在に至っています。

グローバル輸送科学科

理工系学問をベースとした専門性を培い
大陸間のグローバル輸送をマネジメントする

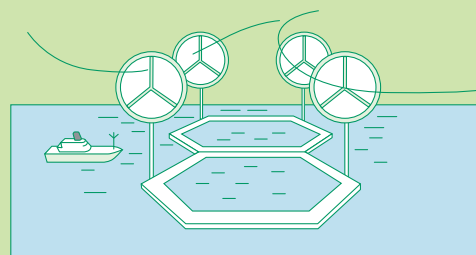
物流の現場を担う海事技術者の養成課程を包含する「航海マネジメントコース」と、より広く空・海・陸の交通と輸送に関わる経営管理のスペシャリストを養成する「ロジスティクスコース」の2コースを開設。工学や情報科学だけでなく、経済・経営・法学分野も充実したカリキュラム編成により、総合性ととともに、高度で深い専門性を追究します。



海洋安全システム科学科

環境保全、自然エネルギー開発、防災・減災……
時代が要請する分野を体系的に学ぶ

現在世界が抱える諸問題は、従来の細分化された学問的枠組みでは解決できません。本学科は、自然科学の基礎を身に付けた上で、港湾施設や沿岸域の防災・減災、海上輸送の安全、環境計測と放射線科学、エネルギー開発など、学際的な研究・教育を展開。安全・安心な社会環境の整備と確立に貢献できる人材を育てます。



マリンエンジニアリング学科

要素技術とプラントの全体といった
「部分と全体」が見渡せる総合エンジニアを育成

大型船舶の海事技術者を養成する科目を含む「機関マネジメントコース」と、熱工学・材料力学・流体力学・電気電子工学・環境科学に関わる技術を習得する「メカトロニクスコース」の2コースを開設。広い範囲の基礎科学と工学をバランスよく学んだ上で、より高度かつ専門的な研究テーマに取り組みます。

